

中間評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	14	計画名	I C・駅への1次アクセス 道路の整備	事業主体	滋賀県
				施行箇所	県下全域

(意見)

○事業の進捗状況について

事業費からみた進捗率は15%にとどまっている。これは、当該整備計画に位置付けた要素事業が増加していることも要因の一つである。

湖東三山インター線（湖東三山スマートI C）や土山蒲生近江八幡線（蒲生スマートI C）が供用開始されている。

○事業効果の発現状況について

スマートI C等の整備により、高速道路や駅へのアクセス性が改善され、I Cへの30分アクセス圏域の拡大とその受益人口の増加や新規工場の進出、湖東三山への観光客の利便性向上に寄与していると認められる。

○評価指標の実現状況

高速道路I C及び駅、並びに高規格幹線道路への30分アクセス圏人口については、中間目標値の設定は無いものの、最終目標値10,000人に対して現状10,021人と良好な実現状況となっている。

工場立地の増進についても、中間目標値の設定は無いものの、最終目標値100件に対して現状41件とおおむね良好な実現状況となっている。

○今後の方針について

滋賀県の道路整備計画である「滋賀県道路整備アクションプログラム2013」に基づき、優先順位をしっかりと定めて、計画期間内により高い効果が得られるように事業を進められたい。

